



クロズアップひと

東京を走る地下鉄・都営新宿線のドアの上。歌手の氷川きよしさんが赤十字への協力を呼びかける長細い広告がこの5-6月、掲げられました。この広告スペースはもともと7年前から、自らが社長を務める会社が借りているもので、この期間は無償で、赤十字に提供しています。すでに4年目になりました。日赤との付き合いは13年前から。この間、「日本モンゴル友好協会」の活動の一環として、モンゴルでの医療支援などで同国の赤十字を支援しました。

モンゴルとの出会いは偶然、駐日モンゴル大使と友人となったことからでした。人が人を呼び、モンゴル政府要人も交流が始まりました。人々も交流が始まりました。そんな中、モンゴルで山火事が発生し、大きな被害が出ていると聞けば、現



熊野活行さん

日本システム企画株式会社
代表取締役社長

社会貢献やめると会社がつぶれる？

地へと赴き、モンゴル赤十字社に支援金を手渡しました。同協会はこうした活動の中から生まれ、自ら会長に就任しました。

民主化が達成されてまだ日が浅いころ。モンゴル人自身が自立しなければ、本当の民主化はできない、そのために

3年前には「日本ミヤマ-友好交流協会」を立ち上げ、軍政下の子どもたちへの奨学金制度づくりに着手していました。「モンゴルは基盤ができませんでしたからね。次は人が手を付けていないところを」。

去年は「東京大江戸ライオンズクラブ」を結成し、こちらも会長に就任。さらにアジア全体に目を向け、子どもたちへの支援活動を展開しはじめています。

都営地下鉄に赤十字の広告を掲載